

市長定例記者会見資料



令和8年(2026年)2月10日	
所 属	都市政策課
所属長	曾田 研之介
電 話	06-6489-6138

尼崎市が県内トップクラスの人口増！自然減を上回る大幅な社会増で、人口増加都市に！

令和7年中の人口動態について、住民基本台帳に基づき集計した結果、本市の社会動態は4年連続の社会増となり、3,335人の転入超過となりました。転入超過数は、4年連続で増え続けています。また、社会増が自然減を上回った結果、令和7年は人口が500人増加しました。

人口の増加は伊丹市に次ぐ県下2位、社会増も神戸市に次ぐ県下2位と、いずれも県内トップクラスとなっています。

1 令和7年中の人口動態

本市全体の人口動態は、自然動態が出生3,249人、死亡6,084人で2,835人の減でした。社会動態は、転入21,750人、転出18,415人で3,335人の転入超過でした。社会増が自然減を上回った結果、令和7年中の人口は500人の増と、令和元年以来6年ぶりの人口増となりました。

2 本市の近年の人口動態（過去10年間の状況：平成28年～令和7年）

(単位：人)

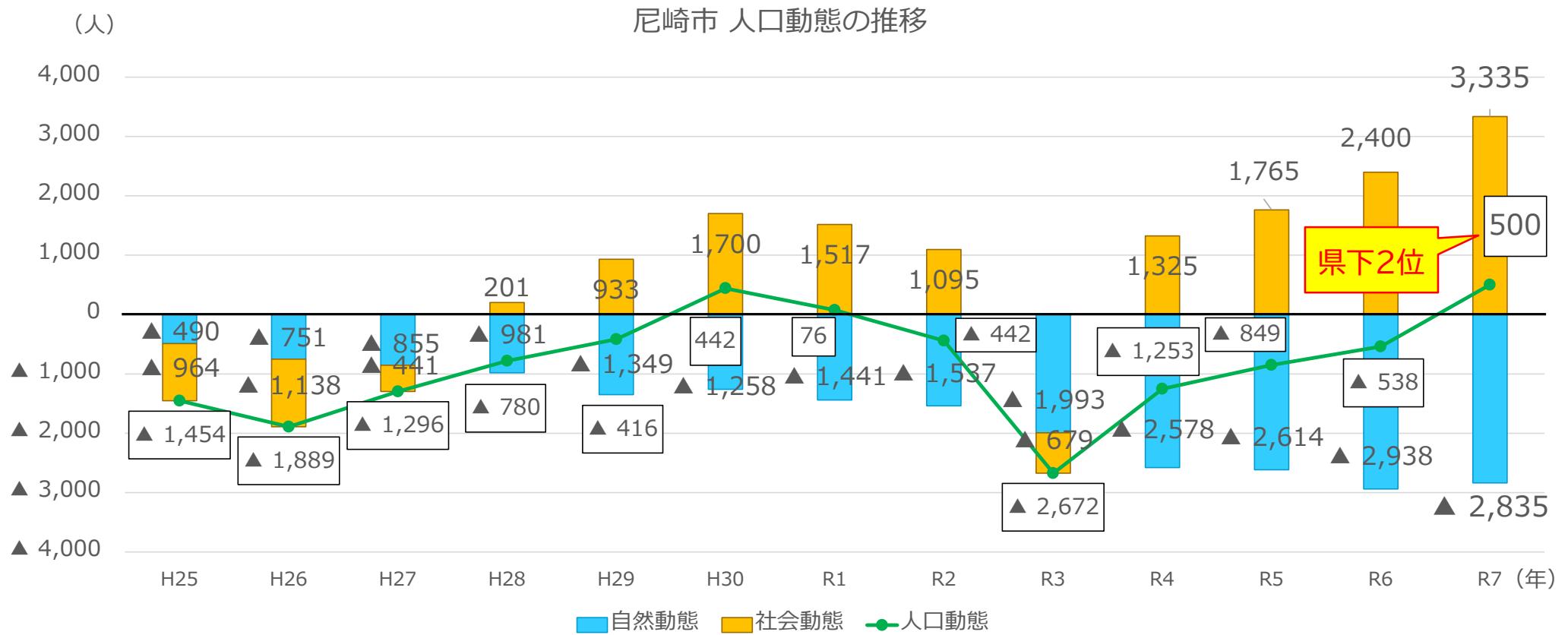
	出生	死亡	自然動態	転入	転出	社会動態	合計
平成28年	3,826	4,807	▲ 981	18,382	18,181	201	▲ 780
平成29年	3,796	5,145	▲ 1,349	19,533	18,600	933	▲ 416
平成30年	3,792	5,050	▲ 1,258	19,364	17,664	1,700	442
令和元年	3,718	5,159	▲ 1,441	19,203	17,686	1,517	76
令和2年	3,745	5,282	▲ 1,537	18,496	17,401	1,095	442
令和3年	3,632	5,625	▲ 1,993	17,397	18,076	▲ 679	▲ 2,672
令和4年	3,367	5,945	▲ 2,578	19,645	18,320	1,325	▲ 1,253
令和5年	3,322	5,936	▲ 2,614	19,555	17,790	1,765	▲ 849
令和6年	3,210	6,148	▲ 2,938	20,403	18,003	2,400	▲ 538
令和7年	3,249	6,084	▲ 2,835	21,750	18,415	3,335	500

3 本市の人口動態の推移



以 上

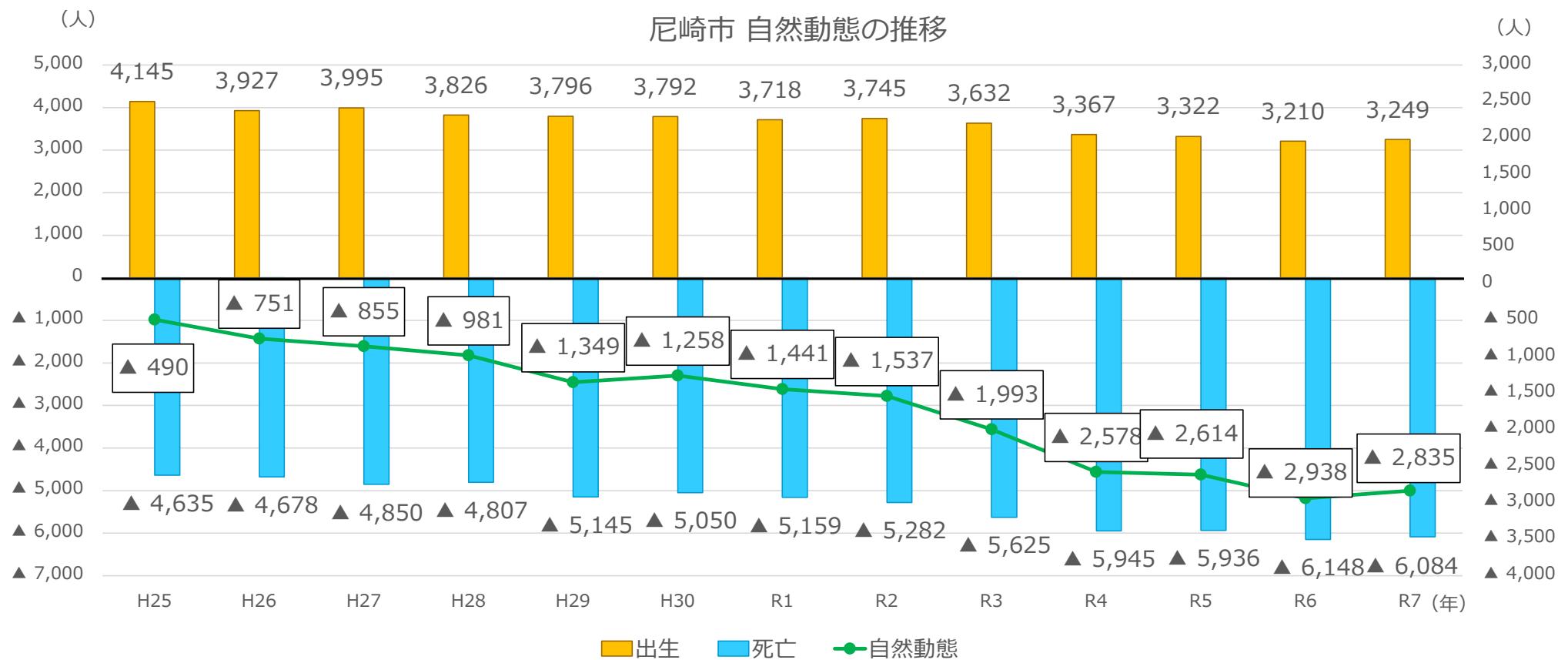
人口動態（平成25年～令和7年）



人口動態におけるポイント

- ①社会増が拡大し、**3,335人の転入超過**に（社会増は**県下2位！**日本人に限れば**県下1位！**）
- ②自然動態は**▲2,835人の減**と横ばい
- ③差し引きで**500人の「人口増」**に転じた（増加数は**県下2位！**）

自然動態（平成25年～令和7年）

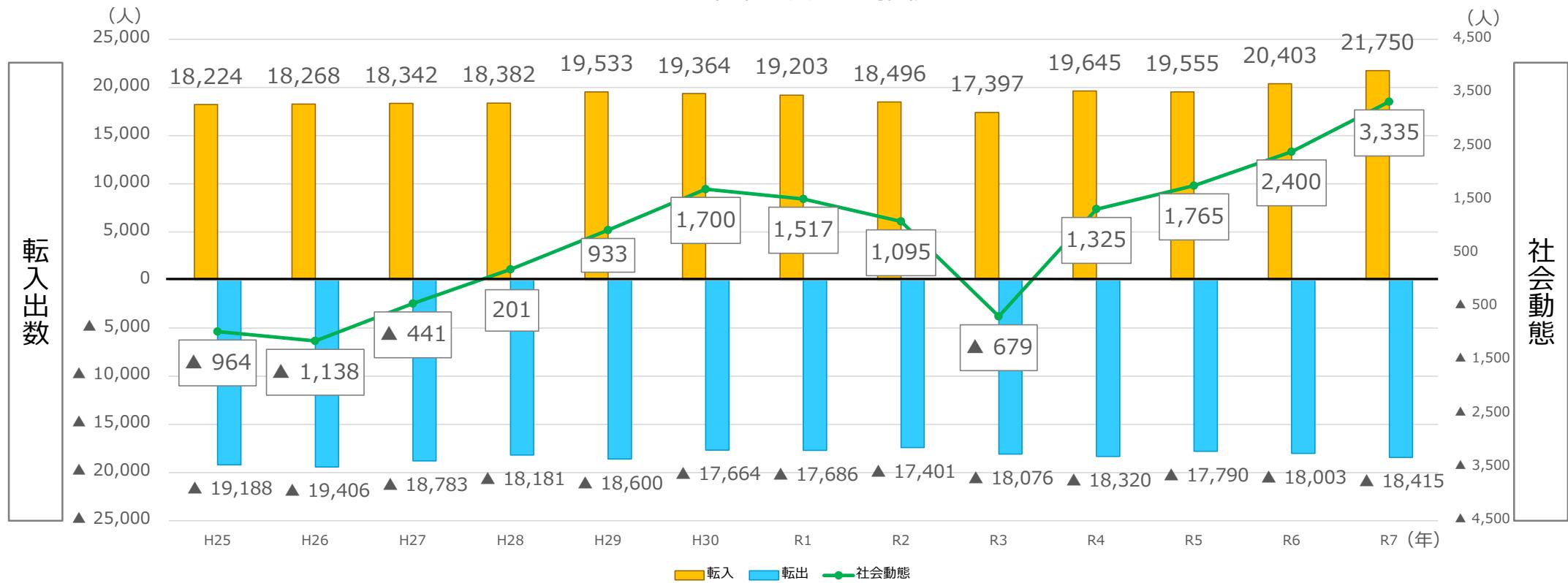


自然動態におけるポイント

- ①出生、死亡ともに横ばいで、大きな変化なし

社会動態（平成25年～令和7年）

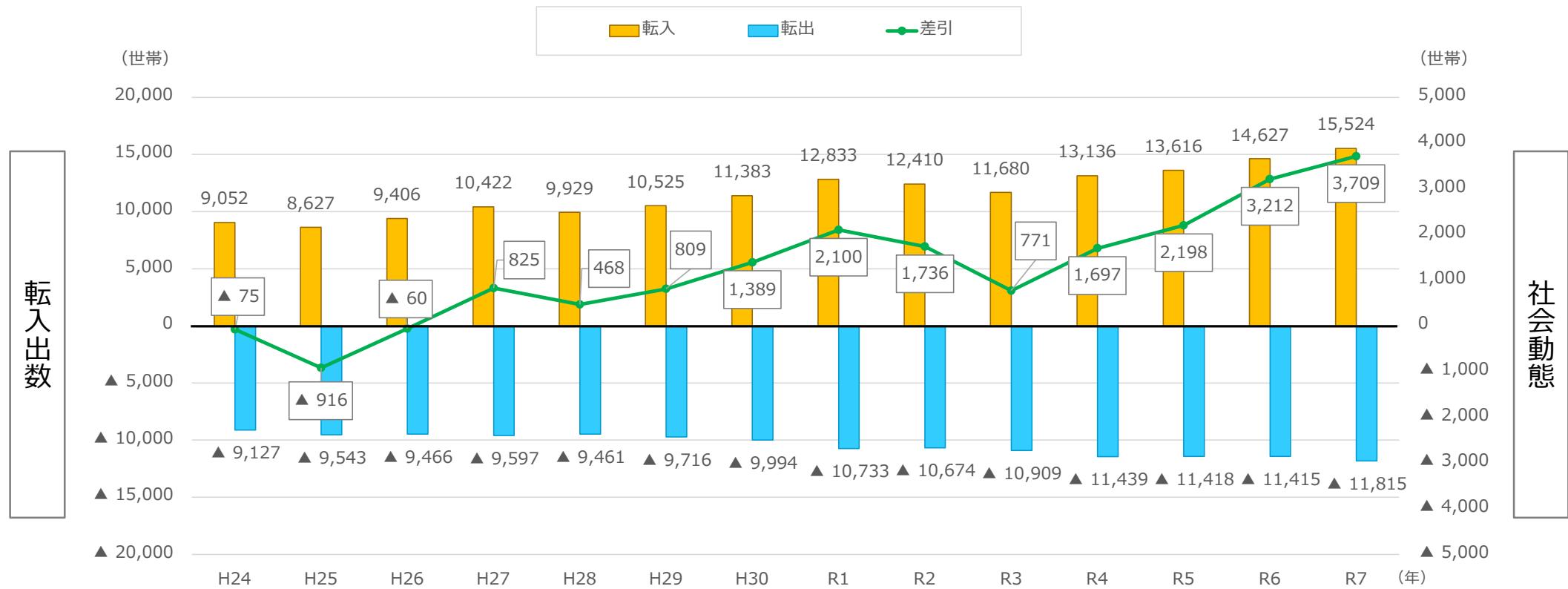
尼崎市 社会動態の推移



社会動態におけるポイント

- ①（再掲）社会増がさらに拡大し、全体で**3,335人の転入超過**に
- ②転入・転出ともに増加しているが、転入の増加が大きく、転入超過が拡大

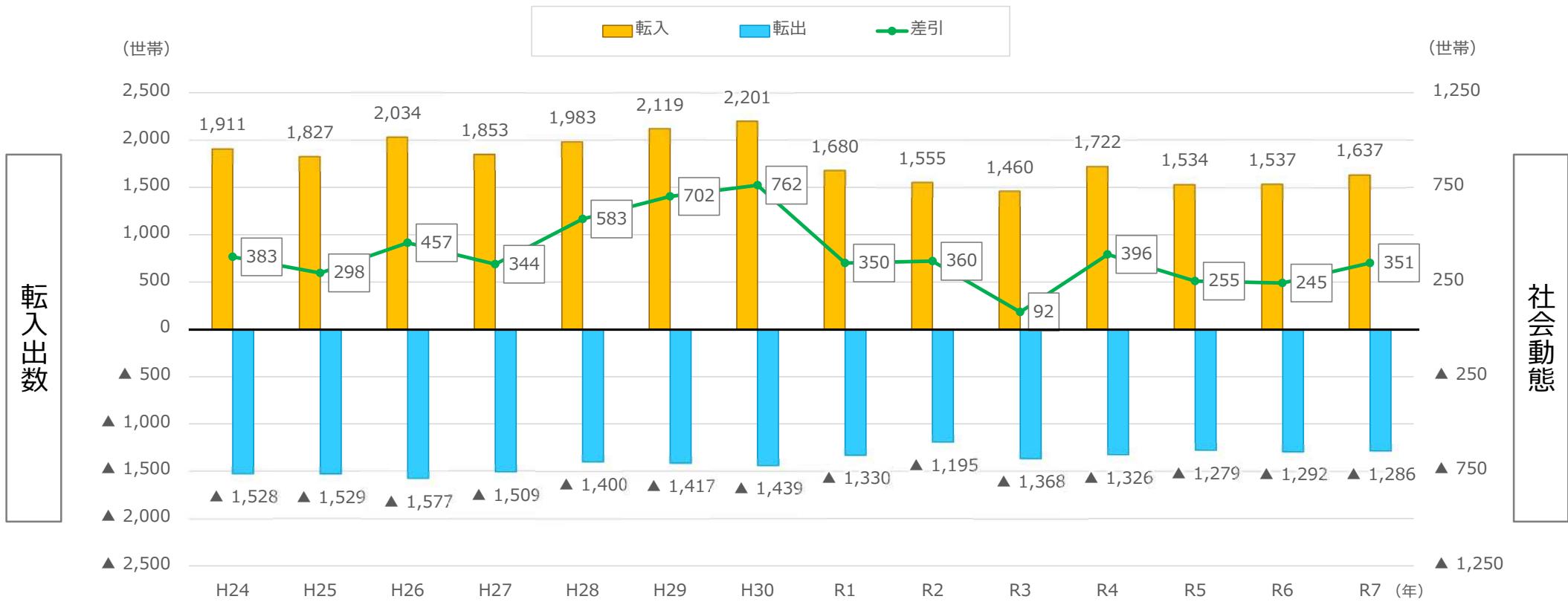
単身世帯の社会動態（平成24年～令和7年）



単身世帯の社会動態におけるポイント

- ① 単身世帯の転入超過が3,709世帯に拡大
- ② 単身の転入者は、20代が多く、西宮市・神戸市からの転入超過が多い
- ③ 単身の転出者は、大阪市・東京圏への転出超過傾向が見られる

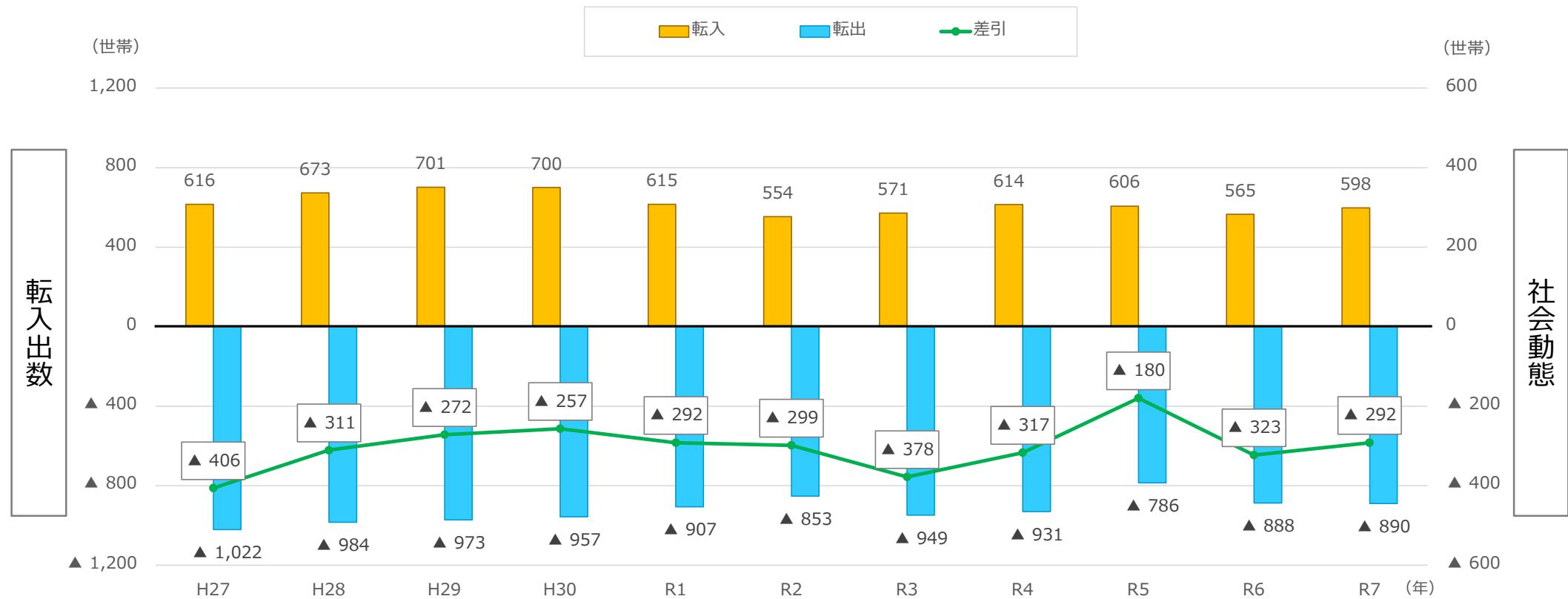
二人世帯の社会動態（平成24年～令和7年）



二人世帯の社会動態におけるポイント

- ①二人世帯の転入超過が351世帯に拡大
- ②二人世帯の転入は、20代及び30代前半が多い
- ③二人世帯は、大阪市からの転入超過が大きい。また、伊丹市への転出が増加

ファミリー世帯の社会動態（平成27年～令和7年）



ファミリー世帯の社会動態におけるポイント

- ①ファミリー世帯の転出超過数は、▲292世帯で、昨年から横ばい
- ②ファミリー世帯は、**大阪市からの転入超過が続いている**

県内自治体の状況

	人口増減	自然増減	社会増減
兵庫県	▲ 28,780	▲ 37,735	8,955
伊丹市	647	▲ 777	1,424
尼崎市	県下2位 500	▲ 2,835	県下2位 3,335
明石市	252	▲ 707	959
芦屋市	▲ 658	▲ 626	▲ 32
川西市	▲ 716	▲ 1,194	478
宝塚市	▲ 1,009	▲ 1,565	556
西宮市	▲ 1,232	▲ 1,739	507
姫路市	▲ 2,959	▲ 3,317	358
神戸市	▲ 6,447	▲ 11,226	4,779

【尼崎市の人口が増加】

尼崎市の人口増+500は県下トップクラス

【人口が増加した県内自治体は4市町のみ】

1位 伊丹市 +647人

2位 尼崎市 +500人

3位 明石市 +252人

4位 播磨町 + 94人

【尼崎市の社会増】

社会増+3,335人も県下トップクラス

【県内の社会増の上位5自治体】

1位 神戸市 +4,779人 4位 明石市 +959人

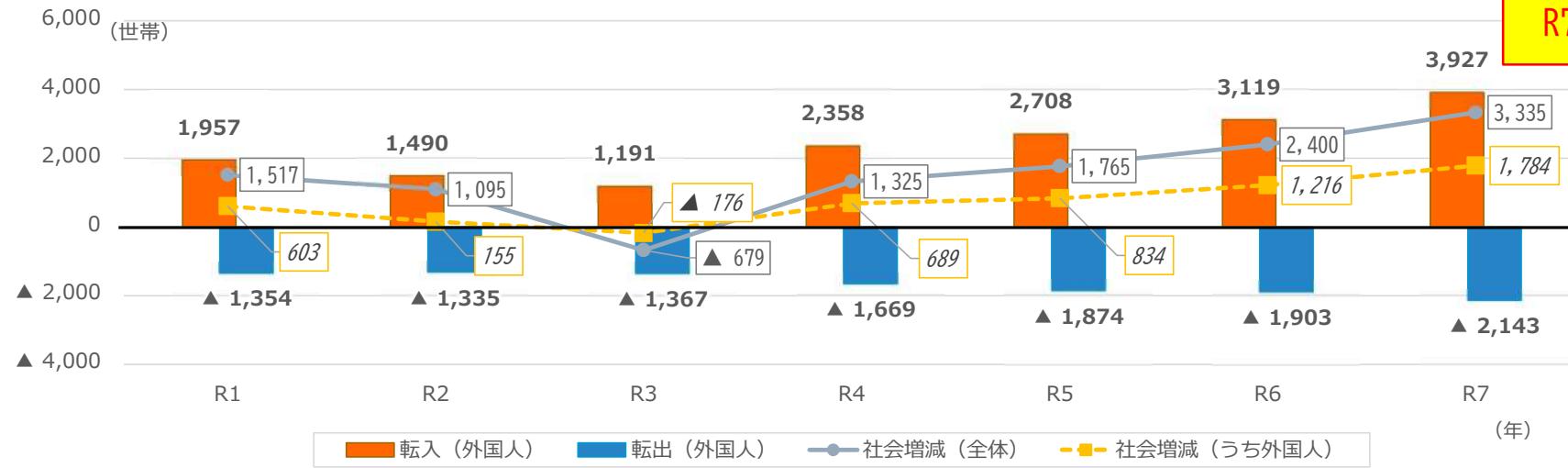
2位 尼崎市 +3,335人 5位 宝塚市 +556人

3位 伊丹市 +1,424人 6位 西宮市 +507人

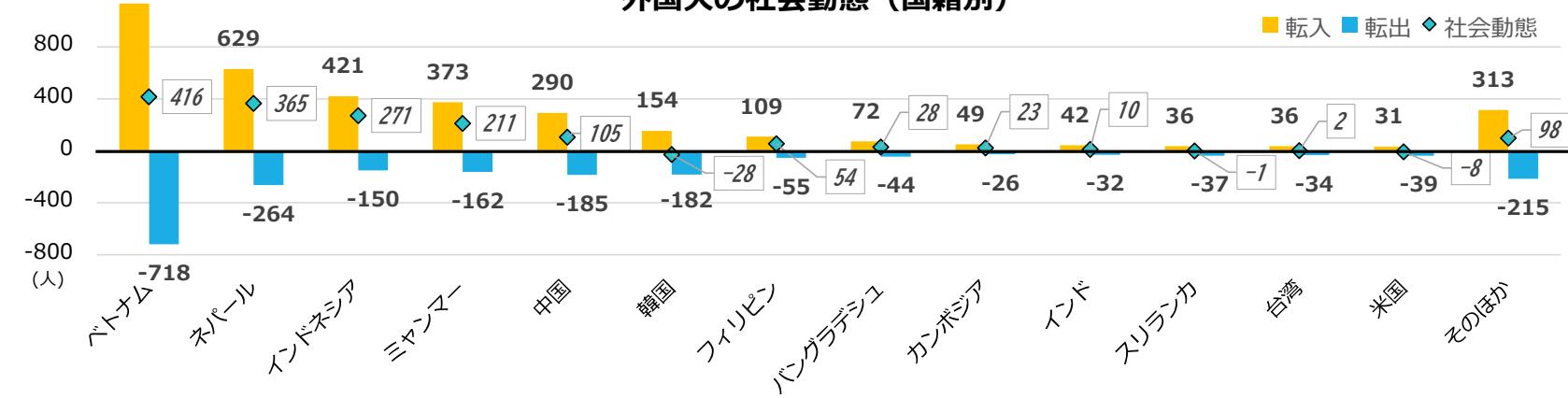
参考

外国人の社会動態

R7は速報値



外国人の社会動態 (国籍別)



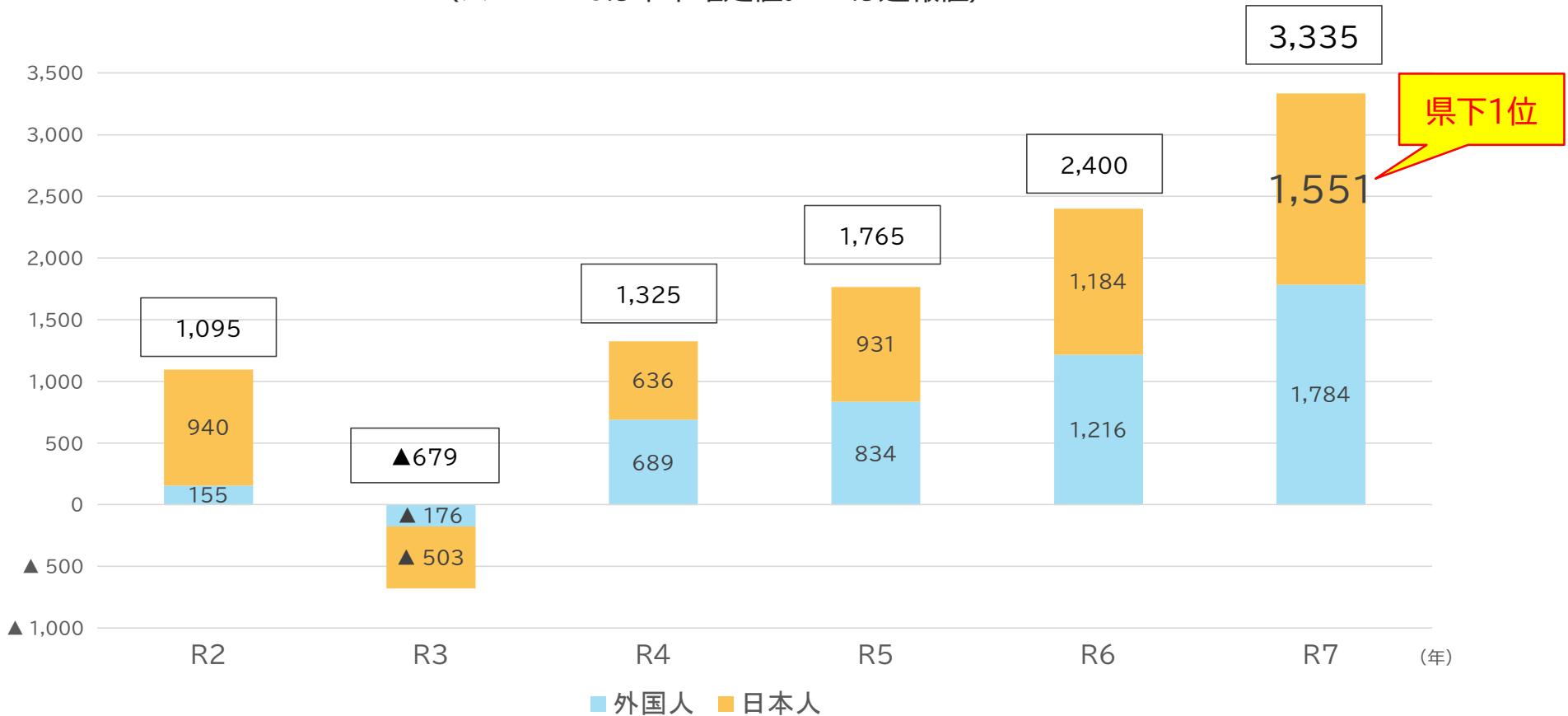
外国人の社会動態におけるポイント

- 尼崎市の外国人の社会動態は、速報値で1,784人の増(速報であり、今後数値は変動)
- 社会増全体は、3,335人。そのうち、半数程度は外国人による増である
- 社会増が大きい国は、ベトナム、ネパール、インドネシア、ミャンマーの順である

参考

日本人・外国人の社会動態

(※ R2～R6は本市確定値。R7は速報値)



尼崎市の社会動態におけるポイント

尼崎市の日本人の社会増は県下1位！

※ 日本人の数は、社会動態の総数から外国人数を引いた数